

■事務局便り

郡山布引高原風力発電所見学会後記

日本風力発電協会 事務局 原田 暁

見学会要旨

株式会社グリーンパワー郡山布引・株式会社日立エンジニアリング・アンド・サービス・株式会社J Pハイテック各社のご協力により、国内最大出力の風力発電所・郡山布引高原風力発電所への見学会を企画し、平成18年11月9日木曜日に開催いたしました。

当日は近畿日本ツーリスト株式会社の大柳様にお手配いただき、雲ひとつない、すばらしい快晴の中、早朝8時東京を出発、11時過ぎに郡山駅で途中乗車の方を加え、総勢43名で布引高原に向かいました。

残念？！

企画当初、見学会の日は丁度最後の発電機を建設中で、地上に置いてあるナセルを、ブレードの一本吊を、タワーの中にも全員とは行かなくとも入れるのでは等々、様々な思惑が錯綜したものでしたが、蓋を開けたところ、1週前に全機の建設が終了し、試験運用が始まったところであり、思惑は水泡と帰しました。

おっ！！

郡山駅を出発し、株式会社日立エンジニアリング・アンド・サービスの相澤様から車中、資料を用いながら発電所のご説明を受け、猪苗代湖畔で昼食、更に車中にて株式会社グリーンパワー郡山布引の三保谷社長よりご説明をいただき、いざ発電所の山道に差し掛かったその時、バスが停車、三保谷社長のお話の間山上から大型クレーン車が降りてきました。折角、ご説明いただいているにもかかわらず、目はクレーン車を追いかけてしまいました。

で、でかい！！

バスが山道を進み、高原の開けたところ差し掛かると風車が見えてきました。更に進み記念碑の場所でバスを降り、猪苗代湖と記念碑をバックに三保谷社長、日立エンジニアリング・アンド・サービスの鈴木部長からご説明をいた

き、活発な質疑応答を行ないました。その後、「音を聴きたい」との参加者の希望があり、山道のから程近い1機のタワー入り口のところまで移動しました。上を見る方、下を見る方、タワーに耳をつけ内部の音を聴く方、1機の風車でもそれぞれの立場で関心を示す場所が全く違うことに驚きました。ここまで書いてきて今更ではありますが、私は未だに間近で風車を見たことがありませんでした。もうひたすら上を見上げ、その大きさとブレードが順に降りてくる迫力に見入っていました。しかし、風切音が思っていたより小さいのにも驚きました。



ありがとうございました

再びバスに乗り一路郡山駅へ、郡山で降車の方と別れ夜8時過ぎに東京駅に戻ってまいりました。

今回の見学会にご協力をいただきました皆様方、ご参加いただいた皆様方に、この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。また、参加をご希望いただいたにもかかわらず、ご一緒できなかった皆様方に改めてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。次回の機会には何卒、宜しく願い申し上げます。